

施策評価シート（平成23年度の振り返り、総括）

作成日 平成24年 04月 06日

施策 No.	8	施策名	生涯学習の推進
主管課名	生涯学習課	電話番号	0285-82-7151
関係課名	文化課、スポーツ振興課、科学教育センター、企画課、福祉課、（社会福祉協議会）		

施策の対象	市民								
対象指標名	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	26年度見込
人口	人				83,392	82,997	82,584	82,136	85,500

施策の意図	市民に学習機会を提供することにより、生涯にわたって学習テーマを持ち、学習してもらう。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合は、市民意向調査の集計結果</li> <li>・生涯学習に関する講座数及び参加延べ人数は、生涯学習課、文化課、スポーツ振興課、科学教育センター、社会福祉協議会で行った講座数の合計</li> </ul>								
成果指標名	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	26年度基本計画目標値
学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合	%				23.9	24.8	26.4	24.5	35.0
生涯学習に関する講座数	講座				71	90	87	77	77
生涯学習に関する講座参加延べ人数	人				7,439	9,768	10,981	12,780	8,000

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	生涯学習は、市民が自主的に活動することが必要であり、主体は市民である。行政は講座などを通じて生涯学習のきっかけをつくり、自主活動団体としての活動を支援していくために、学習機会や学習の場の提供等、学習環境の整備を進めることが主な役割となる。
-------------------------	---

23年度の  
評価結果

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（1）施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）

・市民意向調査では、学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合は25%程度と、ほぼ横ばい状況である。  
・生涯学習のさらなる推進を図るために、「出前講座」を平成21年12月から開始した。実施した講座数は、平成21年度が11講座、22年度が63講座、23年度が108講座と年々増加している。

（2）近隣他市との比較

・県内各市の生涯学習に関する講座数や参加者数については、講座の実施機関や実施方法等が様々であるため比較することは難しい。  
・出前講座は、県内14市中真岡市を含めて9市で実施しているが、講座のメニューの数は300講座と、真岡市が県内で一番多い。

3) 住民期待水準との比較

・今後のまちづくりに力を入れてほしい施策で「生涯学習の推進」の割合は、21年度が7.5%、22年度が7.7%、23年度が9.7%とやや増加傾向である。

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

・生涯学習の推進については、生涯学習課、文化課、スポーツ振興課、科学教育センター、社会福祉協議会で行っている市民講座数は77講座である。  
・出前講座の充実を図るために、23年度は行政編のメニューの充実を図り、前年度に比べ161講座増やして300講座とした。  
・市民講座の参加者の状況は、「英会話」・「ウクレレ」・「真岡の歴史と伝承」等の講座は、約7割が女性で、40代から60代が大半を占める。料理関係の講座は13講座開設し、参加者の8割以上が女性であるが、中高年男性対象の料理教室を1講座開講した。スポーツ教室は小学生及び小学生の親子対象の講座を9講座行った。弓道やジョギング、トレーニング教室は20代から30代が多く、女性水泳教室やトレッキング教室、少林寺拳法は中高年が多い。  
・出前講座の利用者は、女性が7割以上を占め、参加者の年代も30代から60代とさまざまである。家庭教育学級や女性学級で出前講座を利用する例が多いが、地域の女性団体が地元の公民館を会場として利用している例が増えている。  
・市民意向調査で、学習内容は「スポーツ・レクリエーション活動」が32.7%と最も多く、次いで「芸術・歴史・文学等の文化活動」27.5%、「地域での交流活動」20.6%となっている。学習方法は、「個人的な学習」39.2%と「グループ・サークルでの活動」33.7%が多く、「公共機関が開催する教室・行事等」は21.9%となっている。学習活動に取り組む動機は、「趣味や教養を深める」が53.3%、「健康・体力づくり」が35.0%、「仲間づくり」が30.7%、などとなっている。  
・図書館においては、平成21年度から指定管理者制度を導入して開館時間の延長や休館日を減らし利用者の利便性の向上を図っている。  
・平成22年3月に「真岡市生涯学習推進基本構想・基本計画」を策定し、進行管理を行っている。  
・震災で閉館していた二宮文化会館は、平成24年1月から開館し、3ヶ月間の利用者は9,892人であった。

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・生涯学習のきっかけづくりとしての市民講座については、市民のニーズを把握しながら、より多くの講座を開設して参加者を増やしていく。
- ・市民講座の受講者には、講座終了後には定例使用団体(市公民館：62団体、西分館：32団体、山前分館：20団体、大内分館：9団体、中村分館：18団体、二宮分館：36団体、合計：177団体)となって、自立して活動していく方向で、今後も指導を図っていく。
- ・出前講座のメニュー拡大と各団体、事業所等への周知の強化を図る。
- ・二宮コミュニティセンターを市民のふれあいの場としていく。特に二宮分館の会議室・調理室・図書室・ギャラリーを活用した事業を積極的に展開していく。
- ・真岡市民会館については、現在改修工事のための実施設計をしており、平成24年度中に改修工事に着手し、平成25年度中に工事が完了する見込みである。

23年度の  
評価結果

補足事項